

氏 名：工 藤 有 希

学 位 の 種 類：博士（看護学）

報 告 番 号：甲第122号

学 位 記 番 号：博第118号

学位授与年月日：令和6年9月24日

学位授与の要件：学位規則第4条第1項該当

論 文 題 目：慢性呼吸器疾患により在宅酸素療法を行う高齢者の生活の営み
：社会との関わりに焦点をあてて

Living of the Elderly People With Chronic Respiratory Disease Undergoing Long-Term
Oxygen Therapy : Focus on the Relationships With Society

論 文 審 査 員：主査 鷹 野 朋 実

副査 本 庄 恵 子（正研究指導教員）

副査 吉 田 みつ子（副研究指導教員）

副査 石 田 千 絵

副査 田 中 孝 美

論文審査の結果の要旨

審査の概要

論文の概要は以下の通りである。在宅酸素療法（Home Oxygen Therapy; 以下HOT）を行う人の多くが慢性呼吸器疾患をもつ70代以上の高齢者であり、HOT導入の目的の1つにはQOL（Quality of Life;生活の質）の向上がある。そして、このQOL向上には医療者・家族・友人などの他者との社会的相互作用が不可欠なのだが、HOT導入者には、社会的な相互作用が制限されがちな現状がある。本論文は、このことに着目し、看護職として彼らの社会的相互作用を豊かにする支援を確立し、QOL向上に寄与することを目指すものである。研究目的を「慢性呼吸器疾患により在宅酸素療法を行う高齢者の生活の営みを、特に社会との関わりに焦点をあてて明らかにする」こととして、Van Manen（2014）の現象学を基盤とした方法論に基づき実践された質的記述的研究である。慢性呼吸器疾患によりHOTを導入後1年以上が経過している高齢者6名を研究参加者とした非構造化インタビューを行い、結果において彼らの語りを社会との関わりに関連したエピソードに着目して分析し、「空間性」「時間性」「身体性」「関係性」の4つの普遍的な生活世界を手がかりとしながらその人のモチーフ・テーマを抽出している。考察においてもこの4つの視点から研究参加者らの生活の営みにおける社会との関わりの意味について洞察が行われており、さらに、呼吸器疾患をもちHOTを行う高齢者を看護ケアする上での重要な医療者としての姿勢に関する提言なども述べられている。

審査においては、本論文が慢性呼吸器疾患をもちHOTを生活に取り入れている高齢者の生活の営みに着目し、その中でも特に社会との関わりに着目した点において新規性があること、同時に、病いをもちながら地域生活を営む高齢者のQOL向上に寄与する看護ケアの開発は、社会の高齢化が進む我が国における重要課題であり非常に時宜を得た研究であること、緻密な文献検討、吟味検討を重ねた上で計画された研究方法に基づく研究であることが高く評価された。研究結果として、研究参加者らのインタビューから得られた豊かな語りを丁寧に記述しており、その結果から導き出された考察も非常に価値ある内容となっていること、論文全般が研究方法、目的に沿った一貫性のある論述となっていることなどが、審査では高く評価された。

さらに、本論文は、慢性呼吸器疾患をもちHOTを行っている70代以上の高齢者に焦点をあてた研究であるが、地域で暮らす全ての人のQOLの維持・向上には医療者・家族・友人などの他者との社会的相互作用は不可欠であることを鑑みると、慢性呼吸器疾患やHOT導入者に限らず、在宅介護や在宅看護など様々な現場での看護、介護、医療の支援を展開していく上でも一助となる貴重な資料となりうると期待できる。このことも、本研究の意義として評価された。

審査の結果、本論文は本学の審査基準を満たしていると判断し、博士（看護学）の学位論文として「合格」と判定した。